



創立130周年記念チャリティイベント スタジオジブリ鈴木敏夫氏特別講演&ハンドベルコンサートを 開催しました。 2019.9.28 [15:00~17:30]

金城学院大学 アニー・ランドルフ記念講堂において、金城学院創立130周年を記念するチャリティイベントが開催されました。戸苅創理事長・学院長の挨拶ではじまったイベントは、スタジオジブリの鈴木敏夫氏をお迎えしてのトークショーと金城学院生ハンドベルクワイアによるコンサートの2部構成で開催。会場には、在学生、同窓生を中心に1,000名を超える方が集い、心豊かで楽しいひとときを過ごしました。



鈴木敏夫氏 Profile

1948年愛知県生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。徳間書店に入社、「アニメージュ」編集長などを経て、スタジオジブリに移籍。高畑勲監督、宮崎駿監督らと共に数々のジブリ作品をプロデュース。現在、株式会社スタジオジブリ代表取締役プロデューサー。

来場者の皆さまからお預かりした寄付金は全額「もみじの家」へ寄付させていただきました。
(もみじの家/国立成育医療研究センターが運営する、重い病気を持つ子どもと家族を支える医療型短期入所施設)

130周年を迎えて



学校法人金城学院
理事長・学院長
戸苅 創

金城学院は、1889年、アメリカ人女性宣教師アニー・ランドルフ先生によって創立され、2019年10月、創立130周年を迎えました。開学時は生徒3名、アメリカ人教師4名の小さな「英語塾」でしたが、創立130周年を迎えた現在、幼稚園、中学校、高等学校、大学、大学院で、約7,500名の学生、生徒・園児が生き活きと学ぶ女子総合学園に発展。卒業生も、9万名、延べでは14万5千名を超えるまでになりました。

そして、時代はまさに人工知能AI (Artificial Intelligence)の時代に入り、政治、経済、産業、教育、医療等あらゆる生活の場面でAIが日常的に導入されています。一部ではすでにXAI (Explainable AI:AIがどのように考えて判断したのかを可視化する技術)の時代に入ったとも言われます。次世代通信速度も5G (5th Generation)の時代に入ろうとしており、今後、私たちの日常の全てが劇的に変化していくこと

第一部

スタジオジブリ 鈴木敏夫氏
特別講演

『スタジオジブリの作品が伝える
女性へのメッセージ』



軽妙なトークで場内を沸かせた鈴木敏夫氏(右)。聞き手は、映画や音楽に造詣の深いことでも知られるフリーアナウンサー小島一宏氏。

『風の谷のナウシカ』『魔女の宅急便』『おもひでぽろぽろ』『千と千尋の神隠し』など、ジブリ作品には魅力的なヒロインが数多く登場します。では、なぜジブリには女性を主人公にした作品が多いのでしょうか。鈴木氏は言います。「平成の30年はまさに女性の時代。女性がどんどん変わっていく中で、逆に男は小さくなっていった。ジブリの映画もそこをちゃんと捉えていた。それはアニメーションの制作現場にも言えることで、ジブリもスタッフの6割が女性。女性の力がないと映画は作れません」。ただ、高畑勲監督と宮崎駿監督の描く女性像はまったく違って、宮崎監督には女性に対する「憧れ」が、高畑監督には「尊敬の念」があったそうです。今を生きる女性へのメッセージは？という問いには「たとえば『魔女の宅急便』の主人公キキと、『耳をすませば』の雫。この2人の生き方は今の日本女性が自身の生き方を考える上での大きなヒントになると思う」と鈴木氏。「キキは空を飛ぶ能力を使って宅急便屋さんになろうとする。一方、雫には作家になりたいという大きな夢がある。大きな目標があってそれに向かって努力するのも尊いし、キキのように目の前をコツコツやっていたらこうなっちゃった、という生き方もある。自分にはどっちの生き方があっているか、ということです。名古屋の人はもしかしたら、みんながキキなんじゃないか。うちのお袋を見てもそう思うし、僕にもそんな名古屋の血が流れている」。

ジブリ作品の製作秘話やエピソードの数々を披露して聴衆を魅了した鈴木氏。宮崎監督の新作映画『君たちはどう生きるか』の進捗状況についても「1ヶ月に1分の映像ができあがり、今のペースだと完成に10年かかる。今できあがっている20分の映像を見て興奮した。どんな作品になるか非常に楽しみ」と明かしてくれました。



指揮は1987年より金城学院大学ハンドベルクワイアの指導を務める吉田年一先生。

第二部

金城学院ハンドベルクワイア
スペシャルコンサート

『ハンドベルの名曲&ジブリの名曲』

金城学院にハンドベルクワイアが誕生したのは今から49年前(1970年)のこと。当時、金城学院中学校の音楽宣教師をしていたM.Iケリー先生がアメリカの教会の支援により、「神様を讃美する楽器」といわれるハンドベルを寄贈され、日本で最初のハンドベルクワイアを結成したことに始まります。

そんな歴史と伝統をもつ金城学院ハンドベルクワイアの130周年スペシャルコンサートは、ハンドベルクワイアの定番曲に、『崖の上のポニョ』『となりのトトロ』など、ジブリ映画の人気曲の数々を加えたスペシャルプログラム。最後は、クワイアの中学生、高校生、大学生全員がステージに立ち、金城学院の校歌を演奏。お馴染みのメロディーが響き渡ると、会場は大きな拍手に包まれました。



でしょう。また、我が国の社会のグローバル化も急速に拡大していくものと思います。

私たちはまだ見ぬ近未来に果敢に挑戦していく心が求められているのです。アニー・ランドルフ先生が見知らぬ土地に来て、全く新しい「女学校」を創設されたその建学の精神をしっかりと堅持することで、これからのXAI時代、5G時代、そしてグローバル時代に果敢に挑戦していきたいと思います。

創立130周年を祝い、
記念品を配布しました。

生徒や学生の意向を汲んで製作した130周年記念品を、園児、生徒、学生全員に配付しました。



幼稚園
全クラスの名前のイラストをあしらった「キーホルダー」。デザインの可愛さはもとより、夜には反射するので安全と、ママたちにも大好評。



変色前

変色後

中学校/高等学校
生徒会でデザインした、お湯を注ぐと色が変わる「マグカップ」。



大学
学生会がグッズを複数点候補にあげ、その中から学生投票によって決定した「エチケットセット&手鏡」。